

例会報告：2013年12月10日（晴れ） 第1825回 通常例会

◆会員誕生日

須賀 俊和さん（12月12日）

◆奥様誕生日

守屋 くみ子さん（1月7日）

鈴木 邦子さん（1月8日）

阿久津 鈴子さん（1月10日）



◆ニコニコ箱

阿久津 馨委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
12月10日分	18,000	595,550	1,300,000

*会員誕生日

須賀 俊和さん…誕生日お祝いありがとうございます。62才になりました。今後共宜しく願い申し上げます

*奥様誕生日

鈴木 友徳さん…来年の話は鬼が笑う！女房の誕生日のお祝いありがとうございます。80才になります。

守屋 善男さん…家内の誕生日祝いありがとうございます。元気です！！

阿久津 馨さん…妻の誕生日のお祝いありがとうございます。

*その他

大谷 宏さん…萩原美由紀さん、本日はよろしくお願いたします。ご主人には大変お世話になっています。スピーチ楽しみです。

太田 忠さん…過日、税理士法人エナリ（約400社）の親勇会総会があり、優良経営賞をいただきました。過去、同賞7回、販売努力賞6回いただいています。

小嶋 章司さん…70才になってはじめての運転免許書換えのため高齢者講習を受けました。実車運転では息子みたいな教官に褒められましたが、視力はものすごくおちています。終わって何かむなしい気持ちになりました。

志澤 昌彦さん…萩原さん、子供たちの素敵な作品の数々感動です。本日はよろしくお願いたします。

谷口 和雄さん…先日真鶴よりカワハギ釣りに行きました。30cmのカワハギが釣れました。その他28cmと大型ばかりでした。私にはめずらしい事です。楽しかったです。

◆今後のメーキャップ情報

-2013年12月-

▶18日(水) 小田原北 M.U.受付なし
「卓話:クリスマス例会・湯本富士屋ホテル」

▶19日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:クラブフォーラム/半期報告・委員会報告」

▶20日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員担当による卓話」

足柄 M.U.受付なし
「卓話:クリスマス家族親睦夜間例会・フォレストスプリングス」

▶23日(月) 小田原
「休日休会」

▶24日(火) 箱根
「特別休会」

▶25日(水) 小田原北
「休会」

▶26日(木) 小田原中
「特別休会」

▶27日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員担当による卓話」

足柄
「定款による休会」

▶30日(月) 小田原
「特別休会」

▶31日(火) 箱根
「休会」

-2014年1月-

▶1日(水) 小田原北
「休会」

▶2日(木) 小田原中
「」

▶3日(金) 湯河原
「特別休会」

足柄
「休会」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：金山 慶昭
編集長：久保田 知子
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：小川 和夫・志澤 昌彦

会員数：50名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2013-2014
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
ロン D. バートン
【R.I. 2780地区ガバナー】
相澤 光春
【第9グループガバナー補佐】
井島 誠行



【会長】露木 清勝
【副会長】須賀 俊和
【幹事】金山 慶昭
【副幹事】木村 頼弘
【会場監督】杉崎 勝成

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

本日の例会：忘年家族会（第1826回）

会場：湯本富士屋ホテル

日時：2013年12月17日

例会：17:30～17:50／懇親会：18:00～20:30

司会：木村 頼弘 副幹事

17:30	開会点鐘：露木 清勝会長 ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
18:00	懇親会 YOSHI of ザ・アコースティックス ♪心に響くチェロコンサート♪ 担当：親睦活動委員会
20:30	閉会点鐘：露木 清勝 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

12月24日 休会

12月31日 休会

1月7日 新年例会 受付17:00～17:30

会場：ホテル河鹿荘
例会：17:30～18:00
懇親会：18:10～20:30
担当：親睦活動委員会
会費：10,000円

1月14日 通常例会 12:30 クラブ協議会

担当：執行部
卓話：クラブ協議会・地区出向者(小嶋章司会員・久保田知子会員)
「中間決算報告・地区出向者報告」

■ Abbyコーナー

子ども会での発表も無事終了しました(^^)。
苦肉の策として、概略を日本語でプリントし配布したりと、家族総出で大騒ぎの前夜でした(*_*。
「カナダの一番有名な歌は！！」の質問に答えは「国歌」。ついでに歌う羽目に…素敵な声で、カナダの国歌を披露してくれました。
カナダの学校には校歌は無く、国歌を歌うようですよ(^^)♪
たくさんの質問に一生懸命答えてくれていました。
その後、子供達と老人会の指導で、稲藁のリースを作り、さあ待ちに待った「餅つき」！
子ども達を差し置いて、一番先に「餅つき」を体験させてもらうなど、老人会の皆さんにも可愛がって頂けた一日でした、(^o^)/



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2013年12月10日（晴れ）第1825回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

露木 清勝 会長



先日テレビで平成の25年間、この四半世紀を振り返るドキュメンタリー番組が放送されていました。バブル経済の崩壊に始まり、リーマンショックや東日本大震災等々、失われた20年とも評される暗い世相を振り返る中で、最近の若者について語られる場面があり、興味を引かれました。

それは「80世代」（ハチイチセダイ）というのだそうですが、1981年前後に生まれた、現在二十代後半から三十代前半の若者たちを指すのだそうです。この世代の人達には、ソーシャルビジネス、言わば社会の為になる仕事、社会を支える仕事につきたいという志向が強いとのことでした。例えば、32歳の男性でしたが、身寄りのない養護施設を出た若者に、彼らにマッチした職を紹介するビジネスを始めていました。養護施設を卒業する若者は、高い職業意識と自立心を持っていますが、世間一般の企業の中では、その理解度はまだまだ低いのが現状です。そこでこの男性は、養護施設の個々の卒業生の特色を活かせる就職先を、自ら企業を訪問して探し出し、紹介するビジネスを始めた訳です。これは、ボランティアではなくビジネスとして成功している実例の紹介でした。ロータリークラブの職業奉仕を連想させる番組の内容でした。

1960年代全共闘運動の時代には、若者はゲバ棒や火炎瓶を手に、権力に力で立ち向かうことで世の中を変えていこうとしました。81世代の若者は、自らが社会の役に立つ職業に就くことで、社会を変えようとしています。新しい日本の有り様が期待できる出来事です。

また最後に皆様方へお願いですが、青少年交換学生のアビーさんの件ですが、ここで改めて、ホストファミリーを皆様から公募したいと思います。現在、木村副幹事宅にお世話になって、4ヶ月になります。2番目のホストファミリー。が残念ながら今のところ立候補がありません。われこそはと思われる方は是非幹事の金山さんか、カウンセラーの柳井さんまでご連絡いただきたいと思います。よろしくご申し上げます。

❖ 幹事報告

金山 慶昭 幹事



1)1月21日（火）に開催されますIMと新会員の集いの出欠のお返事は今日までです。未だの方は書いてご提出ください。今のところ新会員の集いには参加者がいません
2)2016～2017年度地区ガバナー・ノミニー候補者として秦野RCの佐野英之君が指名されました。

- 3) 米山功労クラブの第31回目の感謝状が送られてきました。寄付合計が100万円以上になる毎に感謝状が送られ1回分カウントされます。
- 4) 石橋 徹会員より出席規定免除申請書が提出されました。
- 5) 第7回理事会を1月7日（火曜日）16時より新年例会会場の河鹿荘で開催をいたします。
- 6) 次週は移動例会で湯本富士屋ホテルでの開催です。お間違えのないように。

❖ 委員会報告

国際奉仕プロジェクト・中村リーダー

1/26に台湾で日台親善会議が開かれます。今回はツアーを組まず、有志の方と1/24～1/27の予定で訪問したいと考えています。ご都合がつく方は是非ご参加ください。

新世代育成委員会・大川委員

ローターアクト年次大会が2/16に鈴廣の鈴の音ホールで開催されます。出欠席の返事は1/14メ切。今回は城北アクトクラブがホストクラブですので、全員登録になっております。欠席の方も会費4千円はお支払いいただくこととなりますのでご了承ください。

親睦委員会・柳井委員

次週クリスマス家族例会のチャーターバスは4：45西口集合となります。希望者は事務局に申し出てください。

❖ 出席報告

大木 清 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
12月10日	50(45)	38	3	91.11%
12月3日	50(47)	39	1	85.11%
11月26日	50(46)	34	1	78.26%

【欠席者】 7名
菊地 義雄、久保田 知子、上田 博和、須藤 公司、石内 正彦、石橋 徹、高橋 哲也
【今回MU】 3名
久保田 知子 (12/1 小田原城北RAC)
須藤 公司 (11/27 小田原城北RAC)
菊地 義雄 (12/6 足柄RC)
【前回MU】 0名
【前々回MU】 0名

❖ Table Flower

●シクラメン

シクラメンの花言葉は「友情」



❖ 卓話

「障がい者アートが社会を繋ぐ」

NPO法人アール・ド・ヴィーヴル理事長
萩原 美由紀 様



今から24年前、小田原保健所でハンディのある赤ちゃんの訪問をされていた保健師さんの呼びかけで、ダウン症を持つご家族を集めてのサークル「ひよこの会」が始まりました。平成8年に私も長男を出産し、医師の紹介で活動を知って参加を決めました。育児書通りにいかない子育てでしたので、先輩ママからの生の声には本当に励まされ助けられました。

感謝でいっぱいです。

活動を続けていくうちに私も先輩となり、平成13年より代表を引き継いで公益財団法人日本ダウン症協会に加盟しました。県内で小田原支部「ひよこの会」は、藤沢、鎌倉に続いての3つめの支部です。小田原を中心に県西地区に住むダウン症の赤ちゃんから大人まで、50人くらいと保護者、応援してくれる団体・企業の方と一緒に活動をしています。

この地域にはダウン症の専門外来がありません。ですから、東京でダウン症の研究をされているドクターや大学講師の方をお招きして講演会を主催し、学校の先生や医療関係者など、ダウン症の方と関わる施設の職員の方と共に学ぶ機会を主催してきました。また、当事者と家族の交流会や旅行なども行っています。地域社会へのアプローチとしてダウン症を正しく理解するための啓発活動、障がいのある人たちが地域で当たり前暮らせるための環境作りに努めてきました。例えば、病院へ活動の冊子を配り、知っていただく。一番必要なのはドクターの元へそういう患者さんがいらした時に、私たちへ連絡を入れてくれることです。障がいのある赤ちゃんを受け入れられないご家族もいます。親せきや周囲から軋轢を受けたり、それで外部との接触を断って一人閉じこもった育児をされるお母さんが実際にいます。お母さんが赤ちゃんを殺めてしまう残念なニュースもありました。早期に親の会に繋いでいただくことで最悪の事態は防げるのではないかと思います。

地域には様々なボランティアの方がいらっしゃいます。社会福祉協議会や民生委員、子供会、自治会などとの繋がりは子育ての中で非常に大切です。地域に出るのは勇気のいることですが、私たち積極的に動いて顔見知りを作ることが相互理解に繋がります。ボランティアさんがいるおかげでキャンプもできました。



和太鼓を教えてくれるボランティアさんもいます。フラダンスを教えていただき、自分たちだけでステージに立てるようにもなりました。

入学の際、障がいがあると就学指導委員会にかけられます。どの学校かを委員会が決めるので、親御さんと希望が合わないこともあります。その状態は長く続いていましたが、最近ではかなり保護者の意見が通るようになってきています。地域で育てていくことを念頭に置いて教育する、学校もそういう雰囲気になってきています。「ひよこの会」では教育委員会との懇談会を重ねてきました。ありのままを伝えてお子さんの特性を知ってもらいます。学校は集団生活で、失敗したり嬉しかったりたくさんありますが、その小さな社会の経験を重ねていくことで徐々に大きな集団へ移っていきけるようになります。社会性を身に付けるステップを踏んでいくことで、地域で共に生きる仲間として理解されていくのではないかと思います。

義務教育は中学で終わります。その後、県西地区では埴田に小田原養護学校がありますが、2市8町全てから集まりますので定員が溢れて入学できないお子さんもいます。中学で終わらせないために何とかして欲しいです。息子は今その2年生でいろいろな企業や福祉作業所に行って実習を積んでいます。来年就職を望んでいますが、実習を受け入れてくれる企業を探すのも難しいのが実情です。やはり社会の理解が必要で、とにかく接する機会を増やすことが大切です。法定雇用率も2%に上がりました。反則金を払っても障がい者を雇わない会社も多いようです。その状況自体を変えるきっかけを作りたいです。



現在の活動について。障がい者はアートを通じていろいろな表現ができます。東京でプロが指導しての大きな展覧会があり、その指導者の方が小田原在住の方と分かりました。小田原でも活

躍して欲しいとお願いしたところ、すぐに話が進みワークショップが始まりました。障がいを持つ人が集まって2時間くらい絵を描きます。先生は声をかけるだけで一切教えません。自由に表現をさせてくれると本人たちが頑張ります。好きな色で好きなモチーフを描き、楽しい会になりました。作品に私たちが元気をもらえます。5月にはギャラリーで1週間作品展を開催できました。来場者700人、アンケートも300通集まりました。勇気づけられ、自分たちの活動に自信を持つことができました。来年も開催する予定です。グッズも作成し販売しています。一般の方に広めるため、福祉の場だけでなくカフェや商店、お菓子屋さんなどで展開しています。NPO法人になったお披露目で障がい者アートの未来についてのシンポジウムも行いました。将来は事業所としての設立を目指しています。誰もが自己肯定感を持てるようにこれからも進んでいくつもりです。